事業所名

高岡市きずな子ども発達支援センター

支援プログラム（児童発達支援センター事業）

作成日

令和6年

12月

13日

法人（事業所）理念		・すべての子どもに「ひとりで生きる力」と「人と共に生きる力」を育てるための支援をします。								
支援方針		・心身の発達に特別な配慮や支援が必要な子どもたちのために、医師・看護師・訓練士・保育士・教員等が連携し、子どもの健やかな発達と自立への基礎作りを目的としています。								
開所時間		8時	30分	から	17時	15分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・持ち物の準備や片付け、排泄や衣服の着替え等、日常生活動作について一人一人に合わせて支援します。								
	運動・感覚	・感覚統合の視点を取り入れた運動遊び（マット、トランポリン、ホーススイング、巧技台、ファニートネル、平均台、はしご等の運動遊具を使った設定）を行うことで、全身を動かして取り組める活動を行います。								
	認知・行動	・保育士が遊びのモデルを見せたり、遊びに誘いかけることで、興味や経験の幅を広げます。 ・視覚支援を取り入れ、本人にわかりやすく伝えることで、活動内容を理解して、取り組めるよう支援します。								
	言語 コミュニケーション	・保育士が伝え方のモデルを示し、要求や困ったことを、伝えられるよう支援します。								
	人間関係 社会性	・保育士との関係を基盤にして、ふれあい遊びなどを通して、他者と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう支援します。 ・簡単な約束を行い、守れたことを褒めながら、望ましい行動を増やします。 ・保育士が仲立ちとなり、他者との望ましい関わり方が身に付けられるよう支援します。								
家族支援		・ペアレント・トレーニング（希望者） ・家庭訪問、個別懇談、電話懇談 ・親子学習（クラス活動、食事参加）、秋のふれあい学級				移行支援		・就学講演会、地区相談会等の紹介 ・交流保育（市内公立保育園2園との交流） ・高岡ライオンズクラブ、高岡中央ライオンズクラブとの交流		
地域支援・地域連携		・保健センターや当センター医師との情報連携や調整を行っています。 ・相談支援事業所との連携を図っています。								
職員の質の向上		・当センターの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による専門指導を受け、日々の療育での支援に活かしています。 ・富山県児童発達支援センター連絡協議会主催の合同研修など、定期的に通園児の発達や支援に関わる研修に参加しています。 ・県主催、他県主催の対面またはオンライン研修に参加しています。 ・月に1~2回職場内での研修を行い、研鑽を積んでいます。								
主な行事等		・入園式、こどもの日の集い、お楽しみ会、七夕の集い、万葉線電車乗車体験（年長児）、秋のふれあい学級（家族兄弟支援）、なかよし発表会、クリスマス会、おわかれの集い（年長児）、卒園式、タイアップ指導、タイアップ保育 ・季節に合わせた製作活動、課題活動								